

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4490
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1091	2	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課	
			担当課長名 岸上 孝志	

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	観光促進事業
財務会計上の事業名	観光促進事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び市外観光客
事業の手段(どうする(させる)ことで)	春・秋の観光シーズンに無料の市内巡回観光バス運行、ホームページの管理・運営、ボランティアガイドの育成、観光講座の実施などを行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内への集客を促進するため。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		4,000		3,600		8,500		8,400	236.1%
内訳	人件費(人・千円)	0.64人	5,376	0.60人	4,920	0.40人	3,200	0.40人	3,200	65.0%
	正職員	0.64人	5,376	0.60人	4,920	0.40人	3,200	0.40人	3,200	65.0%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	9,376		8,520		11,700		11,600	137.3%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		4,140							-
	一般財源 C		5,236		8,520		11,700		11,600	137.3%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	観光ボランティアガイドによる案内	人	556	881	814	
成果指標 (2)		ホームページへの1日平均アクセス数	件	147	176	155		
活動指標 (1)		観光ボランティアガイドの育成	人	11	11	11		
活動指標 (2)		ホームページの更新	回	随時	随時	随時		

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	476,000	774,545	1,063,636		137.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	全体の観光客数は増えているが、ホームページのアクセス数などで減少が見られる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと 誘導案内板の作成。 市イメージキャラクター「ふくまる」事業への協力。 民間鉄道会社との連携事業への協力。	事業の対象者や受益者の反応 観光バスツアー、いいとこ見て歩き講座は定員を超える応募があった。 池田駅前案内所では観光ガイドマップが一月で100部以上配布された。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
東日本大震災による観光客数の減少(特に海外からの観光客)	ホームページの内容の見直し。 引き続き中長期的に事業を展開する必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4475
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1091	3	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課	
			担当課長名 岸上 孝志	

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	新猪名川大橋ライトアップ事業
財務会計上の事業名	新猪名川大橋ライトアップ事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び観光客
事業の手段(どうする(させる)ことで)	新猪名川大橋を土・日・祝とイベント開催日にライトアップすることで、池田のトレードマークとして活用する。(川西市、阪神高速道路(株)との共催事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域の活性化を図るため。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		99		108		104		
内 訳	人件費(人・千円)	0.09人	756	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	正職員	0.09人	756	0.00人	0		0		0	-
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		855		108		104		150	96.3%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		855		108		104		150	96.3%

指標 値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標	(1)						
		(2)						
	活動指標	(1)	点灯日数	日	130	132	123	
		(2)						

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	6,577	818	846		103.4%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	新猪名川大橋を観光資源とし、より広域にPRしたい。また川西市、阪神高速道路(株)との共催事業なのでこれからも継続していきたい。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
東日本大震災にかかる自粛により年度内では5日間ライトアップを中止。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
東日本大震災発生後、ライトアップ等の自粛の動きが各地で見られた。	夏季のライトダウンに努めながら、池田のシンボルのひとつとしての存在価値を高めるため今後も周知を図る。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 820
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1092	1	1	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名 徳永 二郎

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	がらがら火保存会連合会運営助成事業
財務会計上の事業名	がらがら火保存会連合会運営助成事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び市外観光客
事業の手段[どうする(させる)ことで]	保存会連合会との緊密な連携と協力により、献灯の円滑な執行を図る。
事業の目的[どのような結果を得るか]	伝統文化の保存・継承
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		3,000		2,300		800		800	
内訳	人件費(人・千円)	0.50人	2,940	0.50人	2,840	0.50人	2,780	0.50人	2,800	97.9%
	正職員	0.30人	2,520	0.30人	2,460	0.30人	2,400	0.30人	2,400	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20人	420	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	400	100.0%
	支出合計 A	5,940		5,140		3,580		3,600		69.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	3,000								-
	一般財源 C	2,940		5,140		3,580		3,600		69.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	集客数	人	30,000	33,000	35,000	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)								
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	北摂を代表する伝統の火祭りであり、市としても可能な限りの支援が必要と考える。一方、保存会としての更なる自助努力も望まれる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	PR効果等もあり、伝統の火祭りとして年々観客数が増えており、広く周知されてきている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
22年1月には大阪府指定無形民俗文化財の指定を受け、より価値が高まっている。	費用面において、今後の継続のあり方。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4505
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1092	1	2	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	市民参加型イベントの育成
第3期実施計画の事業名	池田市民カーニバル開催事業
財務会計上の事業名	池田市民カーニバル開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び市外観光客
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市域商工団体、趣旨に賛同する者等をもって「池田市民カーニバル いけだ・いらっしやい祭 振興会」を組織し、企画・運営を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内外の多くの人たちが参加することにより、地域の発展と市民の連携を深めるとともに、いきいきと輝く賑わいのあるまちづくりに寄与する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		7,500	7,500	4,000	5,000	53.3%			
内訳	人件費(人・千円)	0.77人	5,523	0.50人	3,470	0.50人	3,390	0.50人	3,400	97.7%
	正職員	0.62人	5,208	0.40人	3,280	0.40人	3,200	0.40人	3,200	97.6%
	再任用職員	0	0	0	0	0	-			
	非常勤職員	0	0	0	0	0	-			
	アルバイト	0.15人	315	0.10人	190	0.10人	190	0.10人	200	100.0%
支出合計 A		13,023	10,970	7,390	8,400	67.4%				
財源	国・府支出金					-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	13,023	10,970	7,390	8,400	67.4%				

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	集客数	人	300,947	305,411	300,626	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)								
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	何度かの見直しの結果、開催時期や事業内容等において定着しきれない面もあったが、ここ数年で定着しつつあるので、引き続き継続の考え。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
さくらまつりを池田市民カーニバルと位置付けて統合。	幅広い年代の人たちが市内外から多く来られ地域の活性化に繋がっていると推察される。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
カーニバルの母体となる振興会の組織力の低下。	振興会の意識向上を図るため市としてサポートを強化するとともに、限られた予算の中で内容の工夫が必要。開催日は、多数の応援職員の協力を得ているが、連携を強化しより円滑な運営が求められる。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4495
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1092	1	3	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	五月山さくらまつり開催事業
財務会計上の事業名	五月山さくらまつり開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市内及び市外観光客
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市域商工団体等々の方々で「池田五月山さくらまつり振興会」を組織し、企画・運営している。
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田の自然豊かな「五月山」で春の憩いを楽しむとともに、賑わいのあるまちづくりに寄与する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		2,700		2,700		1,900		0	
内訳	人件費(人・千円)	0.60人	4,095	0.50人	3,470	0.50人	3,390	0.00人	0	97.7%
	正職員	0.45人	3,780	0.40人	3,280	0.40人	3,200		0	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.15人	315	0.10人	190	0.10人	190		0	100.0%
	支出合計 A	6,795		6,170		5,290		0		85.7%
財源	国・府支出金	1,080								-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	5,715		6,170		5,290		0		85.7%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	集客数	人	48,000	40,000	38,000	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)								
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	池田市民カーニバルと統合
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
池田市民カーニバルと統合により、単独事業は廃止。	池田のシンボルであり、桜の名所である五月山を生かしたイベントの効果として、他市(町)からも問い合わせが多く、広く周知されている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
振興会への協賛金の減少。	

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4500
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1092	1	4	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名 岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	猪名川花火大会開催事業
財務会計上の事業名	猪名川花火大会開催事業
事業の対象(誰(何)を)	両市民及び市外観光客
事業の手段[どうする(させる)ことで]	本市と兵庫県川西市、猪名川花火大会開催委員会との共催により開催。
事業の目的[どのような結果を得るか]	賑わいのあるまちづくり並びに観光振興に寄与する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		14,840		14,328		13,078		13,000	91.3%
内訳	人件費(人・千円)	0.70人	4,620	0.60人	3,660	0.60人	3,580	0.60人	3,600	97.8%
	正職員	0.50人	4,200	0.40人	3,280	0.40人	3,200	0.40人	3,200	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20人	420	0.20人	380	0.20人	380	0.20人	400	100.0%
	支出合計 A		19,460		17,988		16,658		16,600	92.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		19,460		17,988		16,658		16,600	92.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	集客数	人	65,000	70,000	65,000	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		企画・運営方法の再考	回	20	20	20		20
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	973,000	899,400	832,900		92.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	北摂の夏の風物詩として、市内外の方々に定着している花火大会であり、今後も事業内容を継続する中で見直しを図る。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	池田・川西のイベントとして、問い合わせも多く、広く周知されている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
年々、安全面が強く問われ、警備費が増加傾向。	限られた予算のなかで、警備と花火内容の維持に努める。開催日については、多数の応援職員の協力を得ているが、連携を強化し、より円滑な運営が求められる。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()			財務会計上の短縮番号 815
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1092	1	5	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課 担当課長名 徳永 二郎

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	花菖蒲まつり開催事業
財務会計上の事業名	花菖蒲まつり開催事業
事業の対象(誰(何)を)	地域に限らず世代を超えた市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	地元町内会を中心とした組織で構成されている「親と子の集い」実行委員会に委託して実施。
事業の目的(どのような結果を得るか)	世代を超えた地元住民の連帯感の高揚。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	1,400	1,200	960	960	80.0%			
内 訳	人件費(人・千円)	0.16人	1,029	0.20人	1,010	0.20人	990	0.20人	1,000	98.0%
	正職員	0.11人	924	0.10人	820	0.10人	800	0.10人	800	97.6%
	再任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0.05人	105	0.10人	190	0.10人	190	0.10人	200	100.0%
支出合計 A		2,429	2,210	1,950	1,960	88.2%				
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	2,429	2,210	1,950	1,960	88.2%				

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D	成果指標	(1)	集客数	人	15,000	16,000	7,000		18,000
		(2)							
	活動指標	(1)							
		(2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 地元町内会等を中心によくまとまり、実施されている。
---	---	---

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
平成23年度は廃止された野だてが地域コミュニティによる事業提案で開催された。	年々、他市(町)からの問い合わせ等が増加。それに比例して、他市(町)からの来場者も増加と考えられる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
従来の催しに、地域分権としての催しが一部追加されての実施。	市民参加型の催しとしては成功例の一つのため、更に充実させることを検討。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4880
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1091	1	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課	担当課長名 徳永 二郎

1 事務事業の概要

施策名	観光の振興
第3期実施計画の事業名	広域観光振興事業
財務会計上の事業名	広域観光振興事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び市外観光客
事業の手段(どうする(させる)ことで)	池田市・豊中市・箕面市・豊能町・能勢町の3市2町で構成している豊能地区広域観光推進協議会において、事業を協議し実施を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	豊能地区の特性を活かした観光振興事業を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		286		287		287		286	
内訳	人件費(人・千円)	0.35人	2,940	0.40人	3,280	0.40人	3,200	0.40人	3,200	97.6%
	正職員	0.35人	2,940	0.40人	3,280	0.40人	3,200	0.40人	3,200	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	3,226		3,567		3,487		3,486		97.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,226		3,567		3,487		3,486		97.8%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	広域観光での事業	事業	1	2	4	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		担当者会議での検討	回	5	8	4		
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	645,200	445,875	871,750		195.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	毎年新たな事業を展開し、目標に向かって順調に推移している。 他市町、民間企業との交流が深まった。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
民間鉄道会社との連携で「観光あるき」を実施。 協議会内でボランティアガイド交流会の実施。 協議会で物産展イベントに参加。	観光あるきでは全体で27回ガイドツアーを実施、548名の方が参加。 その他にも作成したパンフレットを手に119名の方が自由に散策された。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	有効な物産展、PRイベントへの積極的な参加。 県域を越えての連携事業を行う。